

進路指導だより

No. 3

令和7年1月18日(土)発行
東京都立八王子特別支援学校

校長 野口 幹人
担当 支援部 瀧本 友紀子

新年明けましておめでとうございます。3学期は行事の少ない分、日々の生活をじっくり見直すチャンスです。やりたいこと、できるようになりたいことに、毎日の学校生活の中で御家庭と連携しながら丁寧に取り組み、次の学年につなげていきましょう。

今回の進路指導だよりでは、中学部3年生の進路見学と進路保護者研修会(講演会)についてお伝えします。

◎中学部3年進路見学報告

12月18日(水)中学部3年生の進路見学がありました。「高等部卒業後の進路について考える」「見学にふさわしい態度やマナーを学ぶ」というねらいで、八王子市内の株式会社コニカミノルタウィズユーを見学しました。

コニカミノルタウィズユーは、プリンターやカメラなどを製造するコニカミノルタグループの特例子会社で、障害のある方がたくさん働いています。業務は社内の清掃、カフェ・ショップ、園芸、シュレッダー、梱包・発送、メール仕分け、データ入力、印刷、機械のメンテナンスと様々です。生徒たちは緊張感をもち静かに見学し、「失礼します」と挨拶して部屋に入ることができていました。梱包の箱の組み立てや、プリンターの組み立てを目の前で見ていただいた時は、その正確さやスピードに驚いていました。見学が終わってから、実際に名刺箱の組み立てを体験させていただきました。説明を聞きながら、丁寧に厚紙を折り、組み立てました。最後に、働いている方に事前学習で考えた質問をしました。仕事で大変なことや嬉しいこと、休憩時間や休日の過ごし方、カフェのメニューなど、様々な質問に丁寧に答えていただきました。いろいろな仕事があること、働いている方の態度や様子、休日も含めた生活の様子など、たくさん学んだ進路見学でした。

◎進路保護者研修会(講演会)報告

11月29日、進路保護者研修会(講演会)がありました。TASUC 株式会社 作業療法士の増子拓真先生をお招きして、「将来に向けて今から家庭でできること」というテーマで、福祉サービスの最近の動向、支援のポイントや環境の整備、将来に向けて何が大切か、など幅広くお話していただきました。保護者の方からは、「自分でできることが自分でやれる環境になっているか?声掛けの仕方や環境設定を今一度見つめなおしたい。」「知的に重度だからなんでもやってあげるのではなく、本人に選択させたり、自分でやる機会も意識して作り、自分で考え決定する力を育てていくのも重要だと思った。」「行動の記録、分析をしていくことで対応につながる」「時間の構造化(楽しみまでの見通し)を意識する」「視覚的スケジュールに挑戦したい。」「困ったときに、どうしてそうなったのかを考えていきたい」など、支援のヒントになった、という感想をたくさんいただきました。

◎お知らせ

八王子西特別支援学校で、2月13日(木)2月14日(金)午前中 事業所説明会があります。地域の福祉事業所の担当者から事業所の特色等説明を聞くことができます。詳しくは改めて御案内します。